

平成 21 年 4 月 20 日 発行

初志貫徹

Bad news travels fast.
「悪事千里を走る」
悪いうわさは、よい話よりも早く世間に広まる。

4 月 4 日 (土) の中日新聞のホームサービスに「足りない勉強時間」と題して、興味深い記事が載っていました。日本の中高校生の勉強時間の少なさについて、問題提起しています。ご一読いただいて、私たちに襟を正すべきところはあるのか否か、ともに考えたいと思います。

入学式、新学期の式典で「諸君はもっと自宅学習をきなさい」と説教する校長さんはいるだろうか。日本の中高校生の 1 日の勉強時間は、中国の同じ世代の半分しかない。日本青少年研究所の調査でわかった。勉強しない日本の高校生の 8 割は、学校の勉強がきついと感じている。

学力低下は深刻だ。日本の中高校生成、学校や自宅、塾で 1 日に勉強する時間は平均 8 時間。これに対して中国では 14 時間。韓国は 10 時間と大きな差が出た。10 年前の同じ調査と比べると、高校生は 1 時間、中学生は 2 時間も短くなっているのに驚く。

勉強をしないのに、就寝時間は午前零時以降という中学生は 35%、高校生は 70% もいる。ぼんやりテレビを見たり、ケータイをいじくっているのだろうか。寝るのが午前さまという中高校生成は、米国や中国では 1~2 割にすぎない。

日本の中高校生の 8 割は「よく疲れている」と感じていることもわかった。「自分はダメ人間」と思い込んでいる中学生は 5 割もいるし、高校生は 6 割にもなる。中国や韓国と比べて勉強をしないのに、弱音をはく子どもたち。学校も家庭も甘いことがわかる。

日本の子どもたちの学力は、別の調査でも東アジア最低水準になった。02 年

に始まったゆとり教育が、原因の一つなのだろう。学力向上をめざしたゆとり教育が方法の誤りか、準備不足か、とにかく学力低下という無残な結果が出た。

大学生の学力低下がひどい。推薦・AO 入試で入る学生の学力が低い。そこで高校・大学接続試験の導入が考えられている。学力を維持向上させるため、この手の試験は必須だ。義務教育修了を証明する認定試験があればもっとよい。

米のオバマ大統領は 2 月 24 日の施政方針演説で、親の教育責任にふれ「夕食後に宿題をみてください」「テレビゲームのスイッチを切って、本の読み聞かせをしよう」と語った。日本の政治家も、この調子でやってもらいたい。

若者に学力が乏しいことは、どんなに国の将来を危うくするか。関心を持ち続けたい。

《平成 21 年 4 月 4 日付

中日ホームサービス》

紙面より抜粋

愛知産業大学工業高等学校

名古屋市中区橘二丁目 6 - 15

Tel 052 (322) 1911 Fax 052 (332) 3427

Email info-tech@asu-group.net

Http://asu-g.asu/tech/